

参加費
無料

手話通訳
要約筆記あり

みんなで考えよう！ 特別支援教育と インクルーシブ教育について (2026)

豊中市と芦屋市の支援教育の歴史と現状についてシンポジウムを開催し、支援学級と通常学級の子供たちが一緒に学ぶ独自の教育施策に感銘を受けました。インクルーシブ教育は障害のある人もない人も共に生きていく『共生社会』の礎という意味を共に考えましょう。

8/8 2026
土

13:00-16:00 (受付12時半)

場所 あかし保健所
1階 多目的ホール

☎078-936-7915 明石市大久保町ゆりのき通り



問合せ先
明石市障害当事者等団体連絡協議会 (通称ASK)
☎: 090-4280-8104 (南部)
MAIL: ask614@snow.ocn.ne.jp

13:30 ~ 14:30

第1部 世界のインクルーシブ教育に学ぶ
～何故インクルーシブ教育に転換しなければならないのか～

講師 いちき れいこ
一木 玲子 氏
(東洋大学 人間科学総合研究所 客員研究員)

14:40 ~ 16:00 パネルディスカッション

第2部 これからの課題
～インクルーシブ教育への取り組みと今後の行程は～

【コーディネーター】 一木 玲子 氏 東洋大学 客員研究員

パネリスト

尾上 浩二 氏 DPI日本会議副議長
和田 徳幸 氏 明石市教育委員会事務局学校教育課課長
山田 賢 氏 明石市市民生活局市民協働推進室長
四方 成之 氏 明石市障害当事者等団体連絡協議会会長

後援: 明石市、明石市教育委員会、明石市社会福祉協議会